

第95回 火力専門委員会 構造分科会 議事録

- I. 日 時：2017年4月25日（火）13時30分～16時40分
II. 場 所：日本機械学会 第3,4会議室
III. 出席者：飯田（東電FP）、西野（配管技術研究協会）、西田（MHPS 長崎）、妹尾（関電）、
高野（中電）、野呂（富士電機）
代理者：なし
オブザーバー：関根（IHI）
欠席者：豊嶋（MHPS 呉）、黒川（川崎重工）、田村（MHPS 日立）、太原（東芝）
事務局：原

IV. 配布資料

- 95-1 第94回構造分科会議事録（案）
- 95-2 構造分科会委員名簿
- 95-3 第79回火力専門委員会議事録（案）
- 95-4 第81回発電用設備規格委員会議事録案（案）
- 95-5 用語集
- 95-6-1～ レビュー票
- 95-7-1～ レビュー票（ダブルチェック結果反映）
- 95-8 火STPA28系鋼の許容値等の見直しに係る対応について
- 95-9 新旧対比表、変更箇所一覧の書式について
- 95-10 審議履歴表

V. 議題

1. 前回議事録確認 [資料 95-1]
前回議事録（案）の確認を行ない、議事録案は承認された。
2. 分科会委員・役員の承認 [資料 95-2]
大橋委員の退任が報告された。また、新任委員候補として関根氏、再任委員候補として田村委員、黒川委員が、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会へ推薦することが承認された。
3. 報告事項 [資料 95-3]
 - (1)火力専門委員会報告
2月22日開催の第79回火力専門委員会の主要項目が報告された。
 - 火力専門委員会委員、各分科会委員の承認。
 - 第94回(2/6)構造分科会報告
 - ・発電用火力設備規格201X年版レビュー票の審議状況
 - ・新たに運用を開始するダブルチェックの効率的な進め方について

- ・高クロム鋼の寿命評価式についての事例規格対応（ご意見伺い）
- ・火技解釈第167条解説文案について（ご意見伺い）

[資料 95-5]

- ・火力専門委員会(2/22 開催)報告。

(1)用語集の確認

[資料 95-4]

- o pad … 用語に当て板を追加する。

[資料 95-10]

- 引き続きメールベースで連絡を取りながら、ダブルチェックの作業を進める。

[資料 95-8]

○溶接継手強度低減係数で実質的に変わった箇所は、Gr91 と Gr23 だけであり、その他の鋼種については温度刻みの変更に伴う変更である。また、今回の高クロム鋼クリープ強度見直し対象は Gr91 だけであり、その他の数値は JEAC 3701 (2016) と同じ値となっている。

注(16) 溶化材 → 溶加材 (誤字修正)

(4) 新旧対比表、変更箇所一覧表の書式について

事務局から、新旧対比表の標準例の書式案、変更箇所一覧表の書式案および規格における式、記号の書体に関する規約・ルール例について説明があった。

1) 新旧対比表

- 新旧対比表については、標準的な書式として今回提示したものを用いる。電子データはCSキャビネットの今回の会議資料フォルダに保存するとともに、議事録案の送付に合わせ、メールにて各委員に送付する。
- 図の改訂箇所など、文字以外の改訂箇所については、雲マークや矢印など何らかの方法により、変更箇所が分かるようになっていればよい。
- 改訂内容の説明において、表現方法の統一が必要なものについては、随時確認・調整を行う。

2) 変更箇所一覧表

書面投票が終了して、変更箇所が確定した段階で、変更箇所一覧表を作成する。他分科会との調整により書式が確定したら、別途各委員にご連絡する。

3) 式中の記号等のイタリック表示について

- 現在ドラフトが提示され規格委員会幹事において審議中の「規格策定の手引き」に従い、式中の記号等の物理量等を表す記号は原則としてイタリック体にする。手引きの制定が遅れるなどにより必要性があれば、発電用火力設備規格の規格原稿作成要領(案)に、本事項を追記する。

■今後の進め方

- 提案資料の量が多いことなどを考慮し、改訂内容が確定し提案資料の準備が整った章から個別に提案することもある。
- ダブルチェック結果の反映が完了したところから、新旧対比表の作成を開始する。新旧対比表はⅢ章とⅤ章を優先的に作成し、可能ならば8月後半に開催が見込まれる火力専門委員会に改訂案を提案する。

5. 次回開催予定

日 時：6月19日(月)、20日(火)、21日(水)の候補日の中から、欠席委員のご都合を確認して選定。

開催時間はいずれも、13時30分～17時。

場 所：日本機械学会 会議室

以 上